

◇教育目標◇

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 北海道教育ビジョン
- 十勝管内教育の重点

- 学習の意義を理解し、自らとりくもう
- 健康と安全を考え、うるおいのある生活を送ろう
- 明るく強く希望に満ちた日々を送ろう
- 合理的な行動と実践力を身に付けよう
- 責任と信頼のもとに協力しあおう

- 士幌町教育大綱
「こどもの笑顔が広がり、みんなで
学びやスポーツを楽しめるまち」
- 士幌町教育執行方針

◇R8 経営のテーマ◇

「自律」と「共創」で創る、教育を核としたウェルビーイングの実現

- 【自律】自らの学びをデザインし、目標に向かって自己調整できる力を育成
- 【共創】互いを認め合い、他者との対話により、「心理的安全性の高い集団」を築く

実現に向けた3つのステップ

出会い

つながり

導き

- 目的・課題意識の醸成
- 学びの必要感を喚起
- 人・情報との触れ合い
- 学びと日常生活の往還

- AI&ICTの効果的な活用
- 探究的・体験的な学びの保障
- 地域の教育資源・人材の活用
- 保護者・地域とのパートナーシップ

- 自己調整できる力
- 学びに向かう姿
- 進路・夢の実現
- 人生の舵取り

【具体的な取組の重点】

- 管理職→校務DXの推進（ICT担当との連携）、ペーパーレス化とデータ連携（教務との連携）、各種会議の効率化、心理的安全性の高い職場づくり（「働きやすさ」と「働きがい」両立へ）
学校運営協議会との育成を目指す子どもの資質・能力の共有
- 教務部→教育課程の視覚化、自律的な学習習慣の定着（自己調整能力、家庭学習の取組等）
保護者地域との連携（参観日・面談等の充実・改善・工夫）
- 生徒指導部→自律的な生活習慣の定着（スマホ・タブレットの使い方、情報リテラシー等）
生徒会の主体的な活動（自己有用感の向上）
- 保体部→自律的な健康・安全を意識した生活習慣の定着（睡眠時間・食事等）
- 研修部→校内研修の充実（テーマ別研修・ペア研修・共同研究の推進）
総合的な学習の時間の系統性の整理と実践（地域の教育資源・人材の活用、CSコーディネーターとの連携）
- 特別支援→個別支援計画の教職員・保護者との共有化、個に応じた支援体制・教育環境の充実
- DER委員会→組織的な不登校支援の充実、「サポートシート」を活用した情報の共有
ICTの効果的な活用及び個々の状況に応じた、「つながり」と「学びの保障」
SC及び不登校専門員との連携・協働体制の構築

基盤：教職員のウェルビーイング ～組織の「余白」と「好循環」

組織戦略：校務DX チーム担任・教科制 ダイアログの充実
家庭・地域との連携・協働（ビジョンの共有→共創へ）

【目指すゴール】

生涯にわたって主体的に学び続け、
自らの人生を舵取りできる持続可能な社会の創り手を育成